

製品名: α -プロテインキナーゼ 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20334**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	139kDa

抗原情報

遺伝子名	ALPK1
別名	ALPK1; KIAA1527; LAK; Alpha-protein kinase 1; Chromosome 4 kinase; Lymphocyte alpha-protein kinase
遺伝子 ID	80216.0
SwissProt ID	Q96QP1
免疫原	抗血清はヒト ALPK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

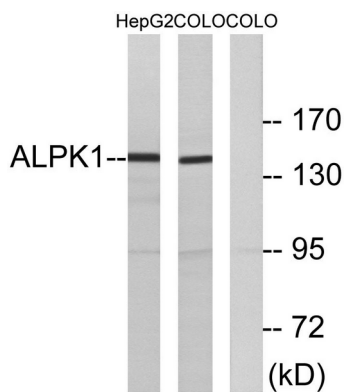
この遺伝子は α キナーゼをコードする。この遺伝子の欠損コピーをホモ接合体として有するマウスは、協調運動障害を示した

(PMID: 21208416)。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011年12月]機能: 周囲のペプチドが α ヘリックス構造をとるリン酸化部位を認識するキナーゼ。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。 α 型タンパク質キナーゼファミリー。ALPKサブファミリー。類似性: 1つの α 型タンパク質キナーゼドメインを含む。組織特異性: 肝臓で高発現する。、

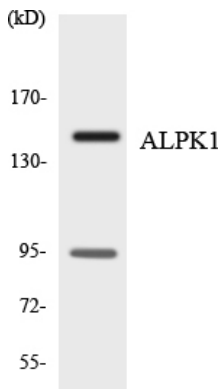
研究分野

-

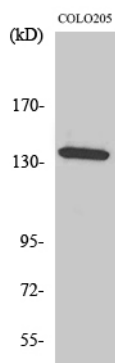
画像データ



ALPK1 抗体を用いた COLO 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ALPK1 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



α -プロテインキナーゼ 1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。